

新機能および補足説明について

- ・本書では、新機能の設定方法と制約事項などについて説明します。これらの機能については本書の内容を参照してください。また、本機に付属の取扱説明書もあわせてお読みください。
- ・お使いの機種によっては、説明の画面とカメラの画面が異なる場合があります。
- ・本書では製品品番の一部（DG-、WV-、BB-、WJ-）を省略している場合があります。
- ・本書では製品品番が DG で始まる機種を DG モデル、WV で始まる機種を WV モデル、BB で始まる機種を BB モデル、WJ で始まる機種を WJ モデル、と省略している場合があります。

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

SW396	SW396、SW396A、SW395、SW395A、SC386、SC385
SC384	SC384
SW355	SW355、SF335
SF334	SF334
SW316	SW316
SW316L	SW316L
SW314	SW314
SP305	SP305
SP304V	SP304V
SW175	SW175、ST165
SW174W	SW174W
SW172	SW172、ST162
SW155	SW155、SW155M
SF135	SF135
SF132	SF132
SP102	SP102
SP105	SP105A
NP502	NP502、NW502S
GXE100	GXE100

本機はソフトウェアのバージョンアップにより、下記の新機能の追加や仕様変更を行いました。

・ソフトウェア Ver.1.80

No.	機能	対応画面（ページ）	記載ページ
1	ライブ画ページの「点検について」（経過年数警告表示）ボタンを削除	ライブ画	4ページ
2	ライブ画ページの「ログ表示」「リスト」の名称変更	ライブ画- ログリスト	4ページ
3	タイムゾーンをNTP画面から基本画面に移動	基本画面（基本） NTP画面（サーバー）	5ページ
4	言語選択に「自動」を追加	基本画面（基本）	6ページ
5	モニター出力設定（NTSC／PAL切換）の追加	基本画面（基本）	6ページ
6	インターネット公開機能を追加	インターネット画面（基本）	7ページ
7	DDNS画面に「設置地域」設定を追加	DDNS画面（ネットワーク）	10ページ
8	「ログ表示許可レベル」機能を追加	ログ画面（基本）	11ページ
9	「ライブ画初期表示ストリーム」設定を追加	JPEG/H.264画面（カメラ）	12ページ
10	「アドバンスド可変ビットレート」をH.264の配信モードに追加	JPEG/H.264画面（カメラ）	12ページ
11	「アドバンスド可変ビットレート」をH.264動画録画のモードに追加	JPEG/H.264画面（カメラ）	14ページ
12	フォーカスの「最短撮影距離」を追加	カメラ動作画面（カメラ）	15ページ
13	霧補正機能を追加	画質調節画面（カメラ）	16ページ
14	IR LED Lightに「白とび補正」設定を追加	画質調整画面（カメラ）	17ページ
15	「パン／チルト範囲指定」設定を追加	画質/ポジション画面（カメラ）	18ページ
16	アラーム端子の動作設定に「モニター出力のPAL切換」設定を追加	アラーム画面（アラーム）	19ページ
17	独自アラーム通知先の「診断」から「点検時期通知」機能を削除	通知画面（アラーム）	21ページ
18	「HTTPアラーム通知」機能を追加	通知画面（アラーム）	22ページ
19	顔検出機能をオプションに変更	ライブ画 XML通知画面（画像認識） 顔検出画面（画像認識）	24ページ
20	SSLメールサーバーに対応	メール画面（サーバー）	25ページ
21	スケジュールに「強制白黒切換」、「強制スーパーダイナミック」、「強制ワイドダイナミックレンジ」を追加	スケジュール画面（スケジュール）	26ページ
22	システムログから「製造年月警告」表示を削除	システムログ画面（メンテナンス）	28ページ

・ソフトウェア Ver.1.82

No.	機能	対応画面（ページ）	記載ページ
23	ライブ画の「select language」プルダウンメニューに「ポルトガル語」を追加	ライブ画	28ページ
24	言語選択に「ポルトガル語」を追加	基本画面（基本）	28ページ
25	「日付表示形式」の初期設定を変更	基本画面（基本）	29ページ
26	メール通知の「診断」に関するメール言語の変更	通知画面（アラーム）	29ページ

・ソフトウェアVer.2.00

No.	機能	対応画面（ページ）	記載ページ
27	「強光補正」機能を追加	画質調整画面（カメラ）	30ページ
28	「方角設定」機能の名称を変更	画質/ポジション画面（カメラ）	31ページ
29	「パン0° 方向設定」機能を追加	画質/ポジション画面（カメラ）	32ページ
30	「連続送話時間」設定を追加	音声画面（カメラ）	33ページ
31	「アラーム無検知時間」設定を追加	アラーム画面（アラーム）	34ページ
32	アラームFTP 転送にプレアラームを追加	アラーム画面（アラーム）	35ページ
33	バージョンアップ画面にサポートウェブサイトへのリンクを追加	バージョンアップ画面（メンテナンス）	36ページ
34	メール通知の画像添付における変更	通知画面（アラーム）	37ページ

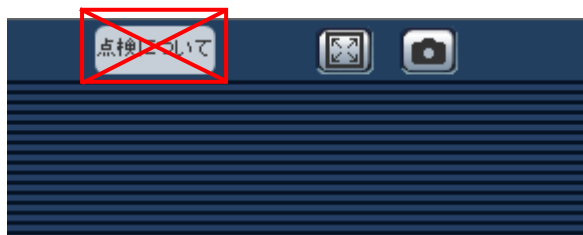
・ソフトウェアVer.2.10 (SC384) (SW175) (SW174W) (SW172) を除く

No.	機能	対応画面（ページ）	記載ページ
35	タイムゾーン設定に関する変更	基本画面（基本）	37ページ
36	SDメモリーカードの警告出力、運用情報／エラー情報表示に関する追加	アラーム画面（アラーム） ステータス画面（メンテナンス）	38ページ
37	電源装置の接続警告表示に関する変更	基本編（使用上のお願い） システムログ画面（メンテナンス）	41ページ

・ソフトウェアVer.2.20 (SW155)

No.	機能	対応画面（ページ）	記載ページ
38	「可変ビットレート」をH.264の配信モードに追加	JPEG/H.264画面（カメラ）	42ページ

1. ライブ画ページの「点検について」（経過年数警告表示）ボタンを削除 （取扱説明書 操作・設定編 PCから画像を見る－ライブ画ページについて）



製造してからの経過年数に応じて、本機の点検時期を点滅表示で知らせる「点検について」（経過年数警告表示）ボタンを削除しました。

なお、製造してからの経過年数は、メンテナンスページの「バージョンアップ」タブで確認できます。

2. ライブ画ページの「ログ表示」「リスト」の名称変更

（取扱説明書 操作・設定編 PCから画像を見る－ライブ画ページについて

ログリストを表示する）

SW396 SC384 SW355 SW316 SW316L SP305 SW175 SW172 SW155 NP502



ライブ画ページの「ログ表示」を「ログ」、「リスト」ボタンを「一覧/再生」ボタンに名称を変更しました。

3. タイムゾーンをNTP画面から基本画面に移動

（取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] - 基本設定を行う [基本]、サーバーの設定をする [サーバー] - NTPサーバーを設定する [NTP] ）

基本		インターネット	SDメモリーカード	ログ
カメラタイトル		DG-SC385		
日付時刻	日時	2012 / 01 / 01 00 : 00 : 00		
	時刻表示形式	24h		
	日付表示形式	YYYY/MM/DD		
	NTP	NTP設定△		
	タイムゾーン	(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京		
	サマータイム	Out		
	開始日時	月	曜日	時間
終了日時	月	曜日	時間	
画面内文字表示		☐ On ☒ Off		
画面内文字(A～Z, 0～9, カナ)				
日時8画面内文字	表示位置	左上		
	文字サイズ	中		
明るさ状態表示		☒ On ☐ Off		
ランプ表示		点灯(常時)		
状態通知期間		☐ 定期(30s) ☒ リアルタイム		
状態通知受信ポート番号		81004 (1-65535)		
プラグインソフトウェアの自動インストール		☒ 許可する ☐ 許可しない		
設定				

[タイムゾーン]

使用するカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。

初期設定：(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京

4. 言語選択に「自動」を追加

（取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う「基本」－基本設定を行う「基本」）



【言語選択】

カメラにアクセスしたときに表示される最初の言語を以下から選択します。

自動／英語／日本語／イタリア語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／中国語／ロシア語

「自動」：ブラウザで使用している言語が自動で表示されます。本機でその言語に対応していない場合は、英語が表示されます。

初期設定：日本語（DGモデル、BBモデル、WJモデル）

自動（WVモデル）

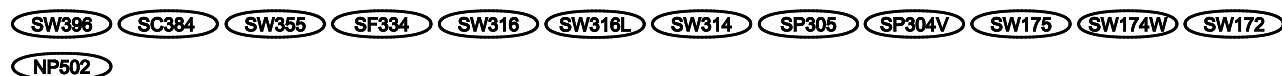
「ライブ画ページでも「自動」以外の表示言語に切り換えることができます。」

お知らせ

「言語選択」を「自動」に設定している場合、携帯電話画面(<http://IPアドレス/mobile>)は、英語で表示されます。「日本語」に設定している場合は日本語で表示されます。

5. モニター出力設定（NTSC／PAL切換）の追加

（取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う「基本」－基本設定を行う「基本」）



【モニター出力】

調整用モニター出力端子に出力する映像フォーマットを設定します。

NTSC／PAL

初期設定：NTSC

お知らせ

モニター出力は、設置時やサービス時にビデオ受像機で画角などを確認することを目的としたものです。録画および監視目的には使用できません。

6. インターネット公開機能を追加

（取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本]）

※ (SC384) (SW175) (SW174W) (SW172) (GXE100) は対応済み

簡単にインターネット公開設定ができるように機能を追加しました。基本ページの [インターネット] タブをクリックします。ここでは、本機をインターネットに公開するために必要なUPnP（自動ポートフォワーディング）、DDNSの設定、および、インターネット推奨設定を行います。

〔UPnP（自動ポートフォワーディング）〕

ルーターのポートフォワーディング機能を使用するかどうかをOn/Offで設定します。

自動ポートフォワーディング機能を使用するには、使用するルーターがUPnP対応で、UPnP機能が有効になっていなければなりません。

初期設定：Off

お知らせ

- ・自動ポートフォワーディングによりポート番号が変更されることがあります。変更された場合は、PCやレコーダーなどに登録されている本機のポート番号を変更する必要があります。
- ・UPnPの機能は本機をIPv4ネットワークに接続する場合に使用できます。IPv6には対応していません。
- ・自動ポートフォワーディングが正しく設定されたかどうかを確認するには、メンテナンスページの [ステータス] タブをクリックし、[UPnP] のステータスが「有効」になっていることを確認します。「有効」が表示されていない場合は、「故障かな!？」の「インターネットからカメラにアクセスできない」をお読みください。
- ・〔UPnP（自動ポートフォワーディング）〕の設定を変更すると、ネットワークページの [ネットワーク] タブの「UPnP」も同様に変更されます。

〔設置地域〕

本機をご使用される地域を「日本」、「日本以外」から設定してください。

初期設定：未設定

お知らせ

カメラを日本で使う場合は、「日本」を選択してください。「日本以外」を選択した場合に表示される「Viewnetcam.com」サービスは、日本国内からアクセスできません。

[サービス]

[設置地域] での設定により設定できるDDNSサービスが以下のように変わります。

「日本」を設定した場合：Off、みえますねっとPRO

「日本以外」を設定した場合：Off, Viewnetcam

DDNSの「みえますねっとPRO」サービス（有料）を使用するかどうかを、みえますねっとPRO／Offで選択します。

みえますねっとPRO設定後、「みえますねっとPRO」サービスの登録画面が新しいウィンドウで開きます。

以後、画面に従って登録を進めてください。詳細は、「みえますねっとPRO」のウェブサイト（<http://panasonic.biz/miemasu/pro/>）を参照してください。

初期設定：Off

[インターネット推奨設定]

本機をインターネットに公開するために、推奨する設定を行います。

[設定] ボタンをクリックすると、確認のダイアログボックスが表示されます。確認したあとに [OK] ボタンをクリックしてください。下記の内容が設定されます。

JPEG	解像度	VGA / 640x360※1, 800x600※2
H.264(1)	解像度	VGA / 640x360※1, 800x600※2
	配信モード	ベストエフォート配信
	1クライアントあたりのビットレート*(最大 / 最小)	1024kbps / 128kbps
	インターネットモード (over HTTP)	On
H.264(2)	解像度	QVGA / 320x180※3
	配信モード	ベストエフォート配信
	1クライアントあたりのビットレート*(最大 / 最小)	1024kbps / 128kbps
	インターネットモード (over HTTP)	On
MPEG-4(1)※4	解像度	VGA
	配信モード	ベストエフォート配信
	1クライアントあたりのビットレート*(最大 / 最小)	1024kbps / 128kbps
	インターネットモード (over HTTP)	On
MPEG-4(2)※4	解像度	QVGA
	配信モード	ベストエフォート配信
	1クライアントあたりのビットレート*(最大 / 最小)	1024kbps/128kbps
	インターネットモード(over HTTP)	On
ネットワーク	RTP パケット最大送信サイズ	制限あり (1280byte)
	HTTP の最大セグメントサイズ	制限あり (1280byte)

※1：[アスペクト比] が「4:3」（**SW396**を除く）、「4:3（VGA）」（**SW396**）の場合は [VGA] 、
「16:9」の場合は [640x360] になります。※**NP502** **GXE100** を除く

[撮像モード] が「1.3メガピクセル（VGA）[4:3]」、「3メガピクセル [4:3]」の場合は [VGA] 、
「1.3メガピクセル [16:9]」、「3メガピクセル [16:9]」の場合は [640x360] になります。**NP502**
[撮像モード] が「VGA [4:3]」の場合は [VGA]、「VGA [16:9]」の場合は [640x360] になります。**GXE100**

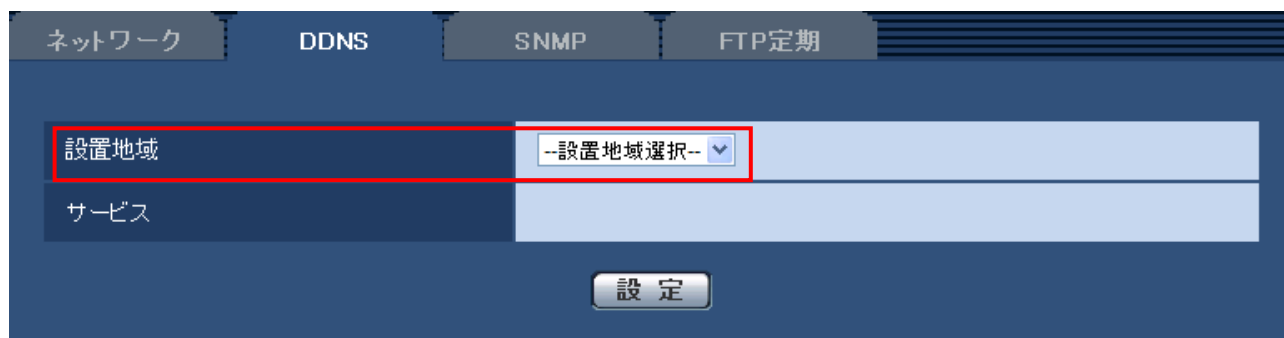
- ※2：[アスペクト比]を「4:3（800x600）」に設定している場合。**SW396**
 [撮像モード]を「1.3メガピクセル(800×600) [4:3]」に設定している場合。**NP502**
- ※3：[アスペクト比]が「4:3」（**SW396**を除く）、「4:3（VGA）」**SW396**の場合は「QVGA」、
 「16:9」の場合は「320x180」になります。※**NP502** **GXE100**を除く
 [撮像モード]が「1.3メガピクセル（VGA） [4:3]」、「3メガピクセル [4:3]」の場合は「QVGA」、
 「1.3メガピクセル [16:9]」、「3メガピクセル [16:9]」の場合は「320x180」になります。**NP502**
 [撮像モード]が「VGA [4:3]」の場合は「QVGA」、「VGA [16:9]」の場合は「320x180」
 になります。**GXE100**
- ※4：MPEG-4対応機種のみ。
 [アスペクト比]を「4:3（800x600）」**SW396**、または、「16:9」に設定している場合は、
 配信できません。※**NP502**を除く

お知らせ

- ・SDメモリーカードの「録画圧縮方式」で、「H.264（1）」が選択されている場合、「H.264（1）」
 の「配信モード」は変更されません。「H.264（2）」が選択されている場合、「H.264（2）」の
 「配信モード」は変更されません。
SW396 **SC384** **SW355** **SW316** **SW316** **SP305** **SP304V** **SW175** **SW174W** **SW172** **SW155**
NP502
- ・「撮像モード」が「D1」に設定されている場合、解像度はD1のままになります。**GXE100**

7. DDNS画面に「設置地域」設定を追加

（取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] —DDNSを設定する [DDNS] ）



【設置地域】

本機をご使用される地域を「日本」、「日本以外」から設定してください。

初期設定：未設定

お知らせ

カメラを日本で使う場合は、「日本」を選択してください。「日本以外」を選択した場合に表示される「Viewnetcam.com」サービスは、日本国内からアクセスできません。

【サービス】

【設置地域】での設定により設定できるDDNSサービスが以下のように変わります。

「日本」を設定した場合：Off、みえますねっとPRO、みえますねっと、ダイナミックDNS Update（DHCP連携なし）、ダイナミックDNS Update（DHCP連携）

「日本以外」を設定した場合：Off、Viewnetcam、ダイナミックDNS Update（DHCP連携なし）、ダイナミックDNS Update（DHCP連携）

DDNSを使用するかどうか、使用するDDNSサービスを選択します。

Off：DDNSを使用しません。

みえますねっとPRO：「みえますねっとPRO」サービスを使用します。

みえますねっと：「みえますねっと」サービスを使用します。

Viewnetcam：「Viewnetcam.com」サービスを使用します。

ダイナミックDNS Update（DHCP連携なし）：ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）をDHCP連携なしで使用します。

ダイナミックDNS Update（DHCP連携）：ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）をDHCP連携で使用します。

初期設定：Off

お知らせ

- ・ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）を使用する場合、DHCP 連携なし／DHCP 連携の選択は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

8. 「ログ表示許可レベル」機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] - ログリストを設定する [ログ])

SW396 SC384 SW355 SW316 SW316L SP305 SW175 SW172 SW155 NP502

基本		インターネット	SDメモリーカード	ログ
アラーム	ログ保存	☒ On ☐ Off		
	画像ダウンロード先のディレクトリー名	C:\nwcam		
手動/スケジュール保存	ログ保存	☒ On ☐ Off		
	画像ダウンロード先のディレクトリー名	C:\nwcam		
FTP定期送信エラー	ログ保存	☒ On ☐ Off		
	画像ダウンロード先のディレクトリー名	C:\nwcam		
ログ表示許可レベル		☒ 1.管理者のみ ☐ 2.カメラ制御以上 ☐ 3.すべて許可		

設 定

「ログ表示許可レベル」

ライブ画ページの「ログ」を表示・操作できるユーザーのレベルを設定することができます。

- ・ 1.管理者のみ : 管理者のみ「ログ」を表示・操作することができます。
- ・ 2.カメラ制御以上 : 管理者とカメラ制御ユーザーは「ログ」を表示・操作することができます。
- ・ 3.すべて許可 : すべてのユーザーが「ログ」を表示・操作することができます。

ただし、ログの削除は、管理者とカメラ制御ユーザーのみ操作できます。また、SDメモリーカードのフォルダー表示は、管理者のみ操作できます。

初期設定 : 1.管理者のみ

9. 「ライブ画初期表示ストリーム」設定を追加

（取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う［カメラ］）



「ライブ画初期表示ストリーム」

「カメラ」ページの「H.264/JPEG」タブに「ライブ画初期表示ストリーム」設定を追加しました。
ライブ画ページで最初に表示される画像の種類の設定を行います。

MPEG-4対応機種については、「動画配信形式」を「MPEG-4」に設定している場合、選択項目がMPEG-4とJPEGに変わります。

- ・ H.264 : ライブ画ページで最初にH.264画像を表示します。
- ・ MPEG-4 : ライブ画ページで最初にMPEG-4画像を表示します。
- ・ JPEG : ライブ画ページで最初にJPEG画像を表示します。

初期設定 : JPEG (SC384) (SW175) (SW174W) (SW172)

H.264 ※上記以外の機種

お知らせ

- ・ 「H.264」や「MPEG-4」に設定されている場合でも、「H.264配信」や「MPEG-4配信」が「Off」に設定されている場合、JPEG画像しか表示されません。

10. 「アドバンスド可変ビットレート」をH.264の配信モードに追加

（取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う［カメラ］－H.264画像に関する設定を行う［JPEG / H.264］）



[配信モード]

H.264画像の配信モードを以下から設定します。

- ・固定ビットレート：H.264画像を「1クライアントあたりのビットレート*」で設定したビットレートで配信します。
- ・フレームレート指定：H.264画像を「フレームレート*」で設定したフレームレートで配信します。
- ・ベストエフォート配信：ネットワークの帯域に応じて、H.264画像を「1クライアントあたりのビットレート*」で設定した最大、最小ビットレートの間でビットレートを可変して配信します。
- ・アドバンスド可変ビットレート：H.264画像を「フレームレート *」で設定したフレームレートで配信します。このとき、「制御期間（可変ビットレート時）」で設定した期間での配信量の平均が、「1クライアントあたりのビットレート*」で設定したビットレートになるように配信します。

初期設定：フレームレート指定

お知らせ

- ・「配信モード」を「フレームレート指定」または「アドバンスド可変ビットレート」に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。

[最大ビットレート（バースト時）]

H.264ビットレートが、「1クライアントあたりのビットレート*」をどれだけ超えることを許容するか、以下から選択します。

高／中／低

初期設定：低

お知らせ

- ・「配信モード」で「アドバンスド可変ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。
- ・H.264ビットレートによって、バースト時のビットレートは、高：最大4倍、中：最大2.5倍、低：最大1.5倍程度まで変化することがあります。

[制御期間（可変ビットレート時）]

H.264ビットレートを制御する期間を以下から選択します。選択した期間での配信量の平均が、「1クライアントあたりのビットレート*」で設定したビットレートになるように配信します。

1h／6h／24h／1week

初期設定：24h

お知らせ

- ・「配信モード」で「アドバンスド可変ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。

11. 「アドバンスド可変ビットレート」をH.264動画録画のモードに追加 (取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う「基本」－SDメモリーカードを設定する「SDメモリーカード」)

SW396 SC384 SW355 SW316 SW316L SP305 SW175 SW172 SW155 NP502

H264 動画録画	
解像度	1280x960
モード	アドバンスド可変ビットレート
フレームレート*	30fps *
制御期間(可変ビットレート時)	24h
ビットレート	2048kbps *
画質	標準
リフレッシュ間隔	1s

設定

【モード】

録画するH.264画像のモードを以下から設定します。

- ・ 固定ビットレート: H.264画像を「ビットレート」で設定したビットレートで録画します。
- ・ フレームレート指定: H.264画像を「フレームレート*」で設定したフレームレートで録画します。
- ・ アドバンスド可変ビットレート: H.264画像を「フレームレート*」で設定したフレームレートで録画します。このとき、「制御期間(可変ビットレート時)」で設定した期間での配信量の平均が、「ビットレート」で設定したビットレートになるように録画します。

初期設定: フレームレート指定

【制御期間(可変ビットレート時)】

録画するH.264のビットレートを制御する期間を以下から選択します。選択した期間でのビットレートの平均が、「ビットレート」で設定したビットレートになるように録画します。

1h/6h/24h/1week

初期設定: 24h

お知らせ

- ・ 「モード」で「アドバンスド可変ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。

12. フォーカスの〔最短撮影距離〕追加

（取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う〔カメラ〕ーカメラの動作に関する設定を行う〔カメラ動作〕） **SW396** **SC384**

JPEG/H.264	カメラ動作	画質/ポジション	音声
ホームポジション設定			
		Off	
セルフリターン			
		Off	
セルフリターン時間			
		1min	
イメージホールド			
		☐ On ☒ Off	
設置方法			
		☐ 卓上設置 ☒ 天井設置	
EX光学ズーム			
		☒ On (最大36倍) ☐ Off (最大18倍)	
デジタルズーム			
		☐ On (最大432倍) ☒ Off	
カメラ位置表示			
		パン・チルト角度/倍率表示	
チルト範囲指定			
		0°	
最短撮影距離			
		☒ 制限なし ☐ 制限あり(約1.5m)	
パン・チルトフリップ			
		☒ On ☐ Off	
設定			

〔最短撮影距離〕

ガラス越しに被写体を映すときや、近距離に別の被写体がある場合、映したい被写体にピントが合いにくいことがあります。ピントが合わない場合は、最短撮影距離を制限できます。

- ・制限なし：最短撮影距離の制限をしません。
- ・制限あり(約1.5m)：約1.5m以内の被写体にはピントが合わないよう最短撮影距離を制限します。

初期設定：制限なし

13. 霧補正機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う [カメラ] ー画質／ポジションに関する設定を行う [画質/ポジション] ー画質の調整を行う (画質調整画面))

SW396

(取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う [カメラ] ー画質調整、ズーム、EX光学ズーム、EXズーム、フォーカス、バックフォーカス、プライバシーゾーン、VIQSを設定する [画質] ー画質の調整を行う (画質調整画面))

SW355

SF334

SW316

SW316L

SW314

SP305

SP304V

※変更した内容は即座に反映されます

画質調整

スーパーダイナミック	☐ On ☒ Off
顔連動制御	☐ On ☒ Off
暗部補正	☐ On ☒ Off
逆光補正(BLC)	☐ On ☒ Off
マスキュリア	開始 終了 リセット
光量制御モード	屋外撮影
ゲイン	On(High)
オートスローシャッター	Off(1/30s)
白黒切換	Auto1(Normal)
レベル	☒ High ☐ Low
切換時間	10s
ホワイトバランス	ATW1 設定
Rボリューム	128 リセット
Bボリューム	128 リセット
デジタルノイズリダクション	☒ High ☐ Low
画揺れ補正	☐ On ☒ Off
クロマレベル	128 リセット
アパーチャレベル	20 リセット
ベデスタルレベル	128 リセット
霧補正	☐ On ☒ Off
レベル	64 リセット

[霧補正]

霧補正機能を有効にするかどうかを On/Off で設定します。「スーパーダイナミック」または「暗部補正」を「On」に設定した場合は設定できません。

霧補正機能を使用すると、霧発生時など画像がかすむ場合に、デジタル画像処理によって画像を見やすく補正することができます。

- ・ On : 霧補正機能を有効にします。
- ・ Off : 霧補正機能を停止します。

初期設定 : Off

【レベル】

霧補正レベルを調節します。

カーソルを「+」方向に動かすと補正レベルが強くなり、「-」方向に動かすと補正レベルが弱くなります。「リセット」ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：64

14. IR LED Light に【白とび補正】設定を追加

（取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う【カメラ】－画質調整、ズーム、EX光学ズーム、EXズーム、フォーカス、バックフォーカス、プライバシーゾーン、VIQSを設定する【画質】－画質の調整を行う（画質調整画面）） **SW316L**

白黒切換	Auto2(IR Light) ▼
レベル	☒ High ☐ Low
切換時間	10s ▼
IR LED Light	Auto(High) ▼
白とび補正	☒ On ☐ Off

【白とび補正】

【白とび補正】を「On」に設定すると、画像内の被写体が白とびしないように輝度の制御を行います。

初期設定：On

お知らせ

- ・【白黒切換】が「On」または「Auto2（IR Light）」に設定されている場合に、【白とび補正】を設定することができます。
- ・【白とび補正】を「On」に設定すると画像内に明るい部分がある場合、画像全体が暗くなることがあります。このような場合は【白とび補正】を「Off」に設定すると画像が明るくなります。

15. 「パン／チルト範囲指定」設定を追加

（取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う［カメラ］－画質／ポジションに関する設定を行う［画質／ポジション］） **SW175** **SW174W** **SW172**



「パン／チルト範囲指定」

パン／チルトの操作を制限する範囲を有効にするかどうかを、On/Off で設定します。

「On」に設定し、コントロールパッド/ボタンで画角を調節して、左端/右端/上端/下端を設定してください。

初期設定：Off

「左端」 / 「右端」 / 「上端」 / 「下端」

画角をコントロールパッド/ボタンで調節し、「設定」ボタンをクリックすると、設定された位置の角度が表示されます。

初期設定：機種により異なります

お知らせ

- ・[左端]の角度は[右端]の角度より小さく、[下端]の角度は[上端]の角度より小さくなるように設定してください。
- ・「明るさ」は保存されません。
- ・[パン/チルト範囲指定]は、拡大表示（ズーム）していない画面上で行ってください。
拡大表示（ズーム）している画面上で[範囲指定]を設定した場合、表示サイズを等倍(x1)に戻すと設定時(拡大表示時)より広い範囲の場所が表示されます。
- ・設定を誤ると、意図しないカメラ画像まで見られるおそれがあります。設定したあとは必ずパン/チルト動作範囲を行って画像を確認してください。
- ・プリセットポジションを設定する前に、[パン/チルト範囲指定]の設定を行ってください。プリセットポジションが[パン/チルト範囲指定]の範囲外に設定されている場合には、プリセットポジションは範囲内の端点で停止します。

16. アラーム端子の動作設定に[モニター出力のPAL切換]設定を追加

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う[アラーム]—アラーム動作に関する設定を行う[アラーム]) (SW355) (SW316) (SW316L) (SP305) (NP502)

アラーム	
動作検知エリア	
通知	
アラーム	
端子 1	モニター出力のPAL切換
端子 2	Off
端子 3	Off
動作検知アラーム	
動作検知設定へ	
コマンドアラーム	コマンドアラーム
	☐ On ☒ Off
	受信ポート番号
	3181 (1-65535)
設定	

[端子 1] (SF335、SP305 を除く)

端子 1 の動作設定を行います。

Off: 使用しません。

アラーム入力: 端子アラーム入力を受け付けます。アラーム入力を選択すると、短絡、開放選択用プルダウンメニューが表示されます。

- ・短絡: 端子状態が「クローズ」に変化するとアラーム検出を行います。
- ・開放: 端子状態が「オープン」に変化するとアラーム検出を行います。

白黒切換入力: 白黒切換入力を受け付けます。(入力が On のとき、白黒に切り換わります)

モニター出力の PAL 切換: 端子の状態が「クローズ」になっている間のみ、調整用モニター出力端子に出力する映像フォーマットが PAL に切り換わります。

初期設定: Off

[端子 2] (SF335、SP305 を除く)

端子 2 の動作設定を行います。

Off : 使用しません。

アラーム入力 : 端子アラーム入力を受け付けます。アラーム入力を選択すると、短絡、開放選択用プルダウンメニューが表示されます。 (NP502)

- ・短絡 : 端子状態が「クローズ」に変化するとアラーム検出を行います。
- ・開放 : 端子状態が「オープン」に変化するとアラーム検出を行います。

アラーム出力 : 「アラーム出力端子」で設定した内容に従ってアラーム出力を行います。

初期設定 : Off

[端子 3] (SF335、SP305 を除く)

端子 3 の動作設定を行います。

Off : 使用しません。

アラーム入力 : 端子アラーム入力を受け付けます。アラーム入力を選択すると、短絡、開放選択用プルダウンメニューが表示されます。 (NP502)

- ・短絡 : 端子状態が「クローズ」に変化するとアラーム検出を行います。
- ・開放 : 端子状態が「オープン」に変化するとアラーム検出を行います。

AUX 出力 : AUX 出力を行います。ライブ画ページに [AUX] ボタンを表示します。

露光期間出力 : CCD の露光タイミングパルスの出力を行います (CCD が露光中の期間だけ Close 出力されます)。 (NP502)

初期設定 : Off

[端子] (SF335、SP305 のみ)

端子の動作設定を行います。

Off : 使用しません。

アラーム入力 : 端子アラーム入力を受け付けます。アラーム入力を選択すると、短絡、開放選択用プルダウンメニューが表示されます。

- ・短絡 : 端子状態が「クローズ」に変化するとアラーム検出を行います。
- ・開放 : 端子状態が「オープン」に変化するとアラーム検出を行います。

モニター出力の PAL 切換 : 端子の状態が「クローズ」になっている間のみ、調整用モニター出力端子に出力する映像フォーマットが PAL に切り換わります。

初期設定 : Off

重要

- ・外部 I/O 端子のアラーム入力の開放→短絡 (On)、短絡→開放 (Off) の検知には、約 100ms 以上の時間が必要です。一度検知すると、検知しない時間が約 5 秒間あるため、検知後約 5 秒以内のアラーム入力は検知されません。

お知らせ

- ・AUX とは、操作者がライブ画ページから任意に操作 (Open/Close) できるカメラ端子のことです。例えば、カメラが設置されている場所の照明などを操作したい場合に、照明制御機器と接続することで遠隔地から操作することが可能です。
- ・各端子の入力/出力定格については、取扱説明書 基本編をお読みください。
- ・「アラーム入力」は、端子状態が On に変化するとアラーム検出します。(初期設定)
設定により、端子状態が Off に変化するとアラーム検出するように変更することができます。
設定方法については、パナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/security/support/info.html>) を参照ください。

17. 独自アラーム通知先の「診断」から「点検時期通知」機能を削除 (取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う「アラーム」－独自アラーム通知に関する設定を行う「通知」)

独自アラーム通知先	アラーム	診断	通知先アドレス
通知先 1 自動追尾連携設定	☐	☐	削除
通知先 2 自動追尾連携設定	☐	☐	削除
通知先 3 自動追尾連携設定	☐	☐	削除
通知先 4 自動追尾連携設定	☐	☐	削除
通知先 5 自動追尾連携設定	☐	☐	削除
通知先 6 自動追尾連携設定	☐	☐	削除
通知先 7 自動追尾連携設定	☐	☐	削除
通知先 8 自動追尾連携設定	☐	☐	削除

※診断から「本機の点検時期」の通知機能を削除しました。

【独自アラーム通知】

以下の場合に独自アラーム通知を行うかどうかを On/Off で設定します。

- ・アラーム発生時（独自アラーム通知先「アラーム」欄）
 - ・~~本機の点検時期通知時（独自アラーム通知先「診断」欄）~~（削除）
 - ・SD メモリーカード残容量通知時（独自アラーム通知先「診断」欄）※
 - ・SD メモリーカードの空き容量不足時（独自アラーム通知先「診断」欄）※
 - ・SD メモリーカードの認識エラー時（独自アラーム通知先「診断」欄）※
- ※SD メモリーカード対応機種のみ

初期設定：Off

お知らせ

- ・独自アラームの通知は、「通知先 1」から順に通知されます（「アラーム」欄または「診断」欄にチェックした通知先のみ）。

「診断」欄

- ・チェックを入れると、SD メモリーカードの残容量通知、SD メモリーカードの空き容量不足、SD メモリーカード認識エラー、~~本機の点検時期（削除）~~を通知します。

お知らせ

製造してからの経過年数は、メンテナンスページの［バージョンアップ］タブで確認できます。

18. 〔HTTPアラーム通知〕機能を追加

（取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う〔アラーム〕）

HTTPアラーム通知		アラーム	
通知先 1	☐	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ	/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01		
通知先 2	☐	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ	/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01		
通知先 3	☐	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ	/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01		
通知先 4	☐	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ	/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01		
通知先 5	☐	http://	削除
ユーザー名			
パスワード			
通知データ	/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01		

HTTPアラーム通知するHTTPサーバーのIPアドレス、または、ホスト名を設定します。通知先は5件まで設定できます。

入力可能文字：半角英数字、半角記号：. _ -

初期設定：http://

入力例：http://IPアドレス:ポート番号、または、http://ホスト名:ポート番号

〔アラーム〕欄

チェックを入れると、アラーム発生時、HTTPアラーム通知を行います。

〔削除〕ボタン

〔削除〕ボタンをクリックすると、その項目に設定されている〔通知先〕、〔ユーザー名〕、〔パスワード〕、〔通知データ〕がすべて削除されます。

〔ユーザー名〕

HTTPサーバーにアクセスするユーザー名を入力します。

入力可能文字数：0～63文字

入力不可文字：全角カナ、半角記号" & ; ¥

[パスワード]

HTTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：0～63文字

入力不可文字：全角カナ、半角記号" &

[通知データ]

[通知先] に設定したHTTPサーバーの後ろに付加する通知内容を設定します。

入力可能文字：半角英数字、半角記号

初期設定：/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01

お知らせ

- ・ [通知先] と [通知データ] の長さの合計 ("http://"を含む) の文字数制限は、256文字になります。
- ・ 必ず"/" (スラッシュ) から設定してください。
- ・ [通知データ] が空白で設定した場合でも、"/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01" が設定されます。
- ・ HTTPSでのアラーム通知はできません。
- ・ HTTPアラーム通知に失敗した場合は、システムログに記載されます。

例：

[通知先] に "192.168.0.100"、[通知データ] に "/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01" と設定した場合、
http://192.168.0.100/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01 というHTTPアラーム通知が実行されます。

■HTTPアラーム通知に関するエラー表示

(取扱説明書 操作・設定編 システムログ表示について)

システムログの内容に以下の項目が追加されます。

分類	表示内容	エラー内容詳細
HTTP アラーム 通知エラー	DNS から通知先アドレス解決できず	DNS サーバーの指定が間違っている可能性があります。 DNS 設定を再確認してください。
		DNS サーバーがダウンしている可能性があります。 ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	通知先見つからず	通知先の IP アドレスが間違っている可能性があります。 通知先の IP アドレスの設定を再確認してください。
		通知先がダウンしている可能性があります。ネットワーク 管理者にお問い合わせください。

19. 顔検出機能をオプションに変更

重要

バージョンアップ前に使用できた顔検出機能は、バージョンアップ後も継続して使用することができます。

（取扱説明書 操作・設定編 PC から画像を見る－ライブ画ページについて）

※ **GXE100** を除く

顔検出機能で検出した顔検出枠をライブ画に表示する機能をオプションに変更しました。

（取扱説明書 操作・設定編 画像認識の設定〔画像認識〕）

※SW396、SW396A、SC386、GXE100を除く



設定メニューより「画像認識」メニューをオプションに変更しました。

「画像認識」機能を使用する場合は、機能拡張ソフトウェアを追加する必要があります。詳細は、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照ください。

DGシリーズ <http://panasonic.biz/security/support/info.html>

BBシリーズ <http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/info.html>

（取扱説明書 操作・設定編 画像認識の設定 [画像認識] –XML通知を設定する [XML通知] ）※SW396、SW396A、SC386

画像認識ページの「XML通知」タブで顔情報、「顔検出」タブをオプションに変更しました。

「画像認識」機能を使用する場合は、機能拡張ソフトウェアを追加する必要があります。詳細は、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照ください。

<http://panasonic.biz/security/support/info.html>

20. SSLメールサーバーに対応

（取扱説明書 操作・設定編 サーバーの設定をする [サーバー] –メールサーバーを設定する [メール] ）

SW396 SC384 SW355 ※SF335を除く

SW316 SW316L SW314 SW175 SW174W SW172 SW155 SF135 SF132 GXE100

[SSL]

「アラーム通知」や「自己診断通知（SD）」のメール通知をSSL暗号化して送信する場合には、Onに設定してください。「On」に設定すると、[認証方法]は「SMTP」に設定されますので、認証用の[ユーザー名]、[パスワード]を設定してください。

初期設定：Off

お知らせ

- ・ SMTP over SSL方式に対応しています。STARTTLSには対応していません。
- ・ SMTPサーバーによってはSSLに対応していない場合があります。

21. スケジュールに[強制白黒切換]、[強制スーパーダイナミック]、[強制ワイドダイナミックレンジ]を追加

(取扱説明書 操作・設定編 スケジュールの設定を行う [スケジュール])

※ **GXE100** を除く



[動作モード]

アラーム入力許可、動作検知許可、画像公開許可、SD録画、ポジションリフレッシュ、1～64、1～256、強制白黒切換、強制スーパーダイナミック、強制ワイドダイナミックレンジのスケジュールの設定を行います。

Off：スケジュール動作を行いません。

アラーム入力許可^{*1}：スケジュール設定されている間、端子のアラーム入力を許可します。

動作検知許可：スケジュール設定されている間、動作検知を許可します。

画像公開許可：スケジュール設定されている間以外は、[ユーザー認証]タブで設定したアクセスレベル2、3のユーザーからの画像閲覧を禁止します。

SD録画^{*2}：スケジュール設定された時間になると、SD録画を行います。（H.264のときのみ有効）

ポジションリフレッシュ^{*3}：スケジュール設定された時間になると、ポジションリフレッシュを行います。

1～64^{*4}、1～256^{*5}：設定された時間になると、あらかじめ登録されているプリセットポジションから選択したポジションに移動します。

全アラーム検知許可：スケジュール設定されている間、すべてのアラーム入力を許可し、みえますねっとPROサーバーへ通知します。なお、[DDNS]で「みえますねっとPRO」を設定している場合のみ、選択できます。

強制白黒切換^{*6}：スケジュール設定されている間、「白黒切換」または「簡易白黒切換」が「On」で動作します。

「IR LED Light」が「Auto (High)」、「Auto (Mid)」、「Auto (Low)」の場合、連動してIR LED Lightが点灯します。^{*7}

強制スーパーダイナミック^{*8}：スケジュール設定されている間、「スーパーダイナミック」が「On」動作します。また、「画質調整」の「光量制御モード」が「屋外撮影」^{*9}または「ELC(1/30s)」^{*10}に変更されます。

強制ワイドダイナミックレンジ^{*11}：スケジュール設定されている間、「ワイドダイナミックレンジ」が「On」で動作します。また、「画質調整」の「光量制御モード」が「屋外撮影」^{*12}または「ELC(1/30s)」^{*13}に変更されます。

初期設定：Off

お知らせ

- ・「画像公開許可」で使用する場合は、[ユーザー認証] タブの「ユーザー認証」を「On」に、[ホスト認証] タブの「ホスト認証」を「Off」に設定してください。
- ・「SD録画」で使用する場合は、[SDメモリーカード] タブの[録画圧縮方式] を「H.264(1)」あるいは「H.264(2)」にし、[保存モード] を「スケジュール保存」に設定してください。^{*2}
- ・「強制白黒切換」で使用する場合は、[アラーム] タブの[端子1] または[端子]を「白黒切換入力」以外に設定してください。
- ・スケジュールに「強制スーパーダイナミック」を設定すると、プリセットポジションの「スーパーダイナミック」の設定は、スケジュールの設定で上書きされます。^{*14}
- ・「撮像モード」が「3メガピクセル[4:3]」または「3メガピクセル[16:9]」に設定されている場合には、「強制スーパーダイナミック」は設定できません。^{*15}
- ・スケジュールに「強制ワイドダイナミックレンジ」を設定すると、プリセットポジションの「ワイドダイナミックレンジ」の設定は、スケジュールの設定で上書きされます。^{*16}
- ・「スーパーダイナミック」または、「ワイドダイナミックレンジ」が「Off」から「On」または、「On」から「Off」に切り替わるときに、画像が一時的に乱れることがあります。

*1 SW396 SC384 SW355 SW316 SW316L SP305 SW175 SW174W SW172 SW155 SF135
SF132 NP502

*2 SW396 SC384 SW355 SW316 SW316L SP305 SW175 SW172 SW155 NP502

*3 SW396 SC384

*4 SW395、SW395A、SC385、SC384、SW175、ST165、SW174W、SW172、ST162

*5 SW396、SW396A、SC386

*6 SW316Lは、対応済み

*7 SW316L

*8 SW396 SW355 (SF335を除く) SW316 SW316L SW314 SW155 NP502

*9 SW396 SW355 (SF335を除く) SW316 SW316L SW314 NP502

*10 SW155

*11 SC384 SW355 (SW355を除く) SF334 SP305 SP304V SW175 SW174W SW172

*12 SC384 SP305 SP304V SW355 (SW355を除く) SF334

*13 SW175 SW174W SW172

*14 SW396

*15 NP502

*16 SC384 SW175 SW174W SW172

22. システムログから「製造年月警告」の表示を削除

（取扱説明書 操作・設定編 本機のメンテナンスを行う「メンテナンス」－システムログを確認する「システムログ」、システムログ表示について）

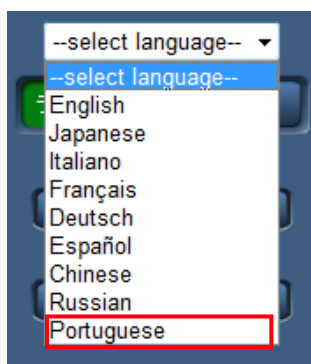
システムログの「製造年月警告に関する表示」で、本機が製造から6年または11年以上経過した時点で表示する機能を削除しました。

なお、製造してからの経過年数は、メンテナンスページの「バージョンアップ」タブで確認できます。

23. ライブ画の「select language」プルダウンメニューに「ポルトガル語」を追加

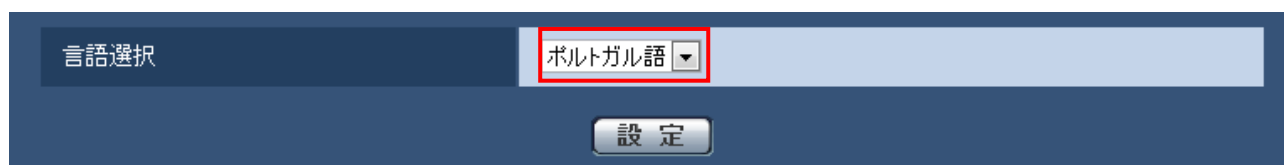
（取扱説明書 操作・設定編 PCから画像を見る－ライブ画ページについて）

画面の表示言語の選択にポルトガル語を追加しました。



24. 言語選択に「ポルトガル語」を追加

（取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う「基本」－基本設定を行う「基本」）



【言語選択】

カメラにアクセスしたときに表示される最初の言語を以下から選択します。

自動／英語／日本語／イタリア語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／中国語／ロシア語／ポルトガル語

「自動」：ブラウザで使用している言語が自動で表示されます。本機でその言語に対応していない場合は、英語が表示されます。

初期設定：日本語（DGモデル、BBモデル、WJモデル）

自動（WVモデル）

ライブ画ページでも表示言語を切り換えることができます。

25. 「日付表示形式」の 初期設定を変更

（取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] — 基本設定を行う [基本] ）
[日付表示形式]

日付の表示形式を選択します。「日時」を「2011 年 4 月 1 日 13 時 10 分 00 秒」に設定した場合、それぞれの表示形式は次のようになります。

- ・ DD/MM/YYYY: 01/04/2011 13:10:00
- ・ MM/DD/YYYY: 04/01/2011 13:10:00
- ・ DD/Mmm/YYYY: 01/Apr/2011 13:10:00
- ・ YYYY/MM/DD: 2011/04/01 13:10:00
- ・ Mmm/DD/YYYY: Apr/01/2011 13:10:00

初期設定 : YYYY/MM/DD (DG モデル、BB モデル、WJ モデル)

Mmm/DD/YYYY (WV モデル)

26. メール通知の[診断]に関するメール言語の変更

（取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム] — メール通知に関する設定を行う [通知]）

SW396 SC384 SW355 SW316 SW316L SP305 SW175 SW172 SW155 NP502

お知らせ

[基本] タブの [言語選択] を「日本語」に設定している場合、「診断」によるメール通知の本文は日本語になります。「日本語」以外に設定している場合は英語になります。

27. 「強光補正」機能を追加

（取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う［カメラ］－画質／ポジションに関する設定を行う［画質/ポジション］－画質の調整を行う（画質調整画面）） **SW396**

（取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う［カメラ］－画質調整、ズーム、EX光学ズーム、EXズーム、フォーカス、バックフォーカス、プライバシーゾーン、VIQSを設定する［画質］－画質の調整を行う（画質調整画面））

SW355 **SF334** **SW316** **SW316L** **SW314** **SP305** **SP304V**

※変更した内容は即座に反映されます

画質調整

スーパーダイナミック	☐ On ☒ Off
顔連動制御	☐ On ☒ Off
暗部補正	☐ On ☒ Off
逆光補正(BLC)	☐ On ☒ Off
マスクエリア	開始 終了 リセット
光量制御モード	屋外撮影
ゲイン	On(High)
オートスローシャッター	Off(1/30s)
白黒切替	Auto1(Normal)
レベル	☒ High ☐ Low
切替時間	10s
ホワイトバランス	ATW1 設定
Rボリューム	128 リセット
Bボリューム	128 リセット
デジタル・ノイズ・リダクション	☒ High ☐ Low
画揺れ補正	☐ On ☒ Off
クロマレベル	128 リセット
アパーチャレベル	15 リセット
ベデスタルレベル	128 リセット
霧補正	☐ On ☒ Off
レベル	64 リセット
強光補正	☐ On ☒ Off
レベル	16 リセット

「強光補正」

強光補正機能を有効にするかどうかをOn/Offで設定します。

強光補正機能を有効にすると、夜間に車のヘッドライトなど明るい光がある場合に、被写体の白とびを抑制することができます。

On：強光補正機能を有効にします。

Off：強光補正機能を停止します。

初期設定：Off

「レベル」

強光補正レベルを調節します。

カーソルを「+」方向に動かすと補正レベルが強くなり、「-」方向に動かすと補正レベルが弱くなります。「リセット」ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

初期設定：16

お知らせ

「スーパーダイナミック」または「逆光補正(BLC)」を「On」に設定した場合は設定できません。

28. 「方角設定」機能の名称を変更

（取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う［カメラ］－画質／ポジションに関する設定を行う［画質/ポジション］－方角設定に関する設定を行う（方角設定画面））

（SW396）（SW395、SW395A、SC385を除く）



「方角設定」の名称を「方角/方向設定」に変更しました。

また、「カメラ位置表示」設定（カメラページ［カメラ動作］タブ）に関わらず「詳細設定へ>>」ボタンが有効になるように変更しました。ただし、「北位置設定」機能は「カメラ位置表示」設定が「方角表示」に設定されているときのみ使用可能です。

29. 「パン0° 方向設定」機能を追加

（取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う［カメラ］－画質／ポジションに関する設定を行う［画質／ポジション］－方角設定に関する設定を行う（方角設定画面））

（SW396）（SW395、SW395A、SC385を除く）



「パン0° 方向設定」

パンの0° 方向を設定します。コントロールパッド/ボタンで画角を調節し「設定」ボタンをクリックすると、現在向いているパンの方向が0° になります。「リセット」ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。

お知らせ

- ・チルトの0° 方向は設定されません。
- ・パンの0° 方向を変更しても、既に設定されたプリセットポジションの位置は変化しません。また、既に設定されたオートパン設定は変更前と同じ範囲を旋回します。同様にパトロール設定についても、変更前と同じ動作を行います。
- ・360度マップショット機能について、パンの0° 方向の変更前後で表示されるサムネイル画像が変化します。

30. [連続送話時間] 設定を追加

(取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う [カメラ] - 音声を設定する [音声])

SW396 SC384 SW355 SF334 SW316 SW316L SP305 SW175 SW174W SW172 NP502

音声	
音声モード	Off
音声圧縮方式	☒ G.726 ☐ G.711
ビットレート	32kbps
受話音量(PCで聞く)	マイク 中
受話間隔(PCで聞く)	40ms
送話音量(PCから話す)	中
送話間隔(PCから話す)	640ms
連続送話時間	5min
送話先ポート番号(PCから話す)	34004 (1024-50000)
音声許可レベル	☐ 1.管理者のみ ☐ 2.カメラ制御以上 ☒ 3.すべて許可

設定

[連続送話時間]

1回の送話時間の最大時間を設定します。

1min/2min/3min/5min/10min/20min/30min/1h

初期設定 : 5min

お知らせ

- ・ 送話開始後、設定した時間を過ぎると送話が停止します。再度送話を行う場合は、送話ボタンをクリックしてください。

31. [アラーム無検知時間] 設定を追加

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム] -アラーム動作に関する設定を行う [アラーム])

The screenshot shows the 'アラーム' (Alarm) settings page. At the top, there are three tabs: 'アラーム' (Alarm), '動作検知エリア' (Action Detection Area), and '通知' (Notification). The 'アラーム' tab is active. Below the tabs, there is a table of alarm settings. The 'アラーム無検知時間' (Alarm No-Detection Time) is highlighted with a red box and is set to '5s'. Other settings include '端子 1' (Terminal 1) to '端子 3' (Terminal 3) all set to 'Off', '動作検知アラーム' (Action Detection Alarm) with a link to '動作検知設定へ' (Go to Action Detection Settings), '自動追尾アラーム' (Automatic Tracking Alarm) with a link to '自動追尾設定へ' (Go to Automatic Tracking Settings), and 'コマンドアラーム' (Command Alarm) with 'コマンドアラーム' (Command Alarm) set to 'Off' and '受信ポート番号' (Receiving Port Number) set to '8181 (1-65535)'. A '設定' (Settings) button is at the bottom right.

アラーム	
端子 1	Off
端子 2	Off
端子 3	Off
動作検知アラーム	動作検知設定へ
自動追尾アラーム	自動追尾設定へ
コマンドアラーム	コマンドアラーム ☐ On ☒ Off
	受信ポート番号 8181 (1-65535)
アラーム無検知時間	5s

設定

[アラーム無検知時間]

アラームを検知した後に、検知動作を行わない時間を設定します。例えば、アラームによって携帯電話にメール通知を行う設定の場合、本設定によってメールを送信し過ぎないようにすることが可能です。

5s／10s／30s／1min／3min／5min／10min

初期設定：5s

お知らせ

- ・アラームの種類ごとにアラーム無検知時間が管理されます。例えば、コマンドアラームのアラーム無検知時間中であっても、動作検知アラームは検知されます。

32. アラームFTP転送にプレアラームを追加

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム] - アラーム画像に関する設定を行う [アラーム])

アラーム画像 FTP設定へ			
アラーム画像送信	☐ On ☒ Off		
ディレクトリー名			
ファイル名			
FTP送信リトライ	☐ On ☒ Off		
プレアラーム	画像更新速度 1fps	最大画像枚数 0枚	録画時間 0s
ポストアラーム	画像更新速度 1fps	画像枚数 100枚	録画時間 100s
解像度	VGA		
アラーム時の画質制御	☐ On ☒ Off		
アラーム時の画質	5 標準		
設定			

[FTP送信リトライ]

FTP転送が失敗したときに、再送するかどうかをOn/Offで選択します。

On：転送に失敗した場合、転送に成功するまで再送を行います。

Off：転送に失敗した場合、その画像は破棄して次の画像を送信します。

初期設定：Off

[プレアラーム]

・画像更新速度

アラーム発生前の画像の更新間隔を以下から選択します。

0.1fps / 0.2fps / 0.33fps / 0.5fps / 1fps

初期設定：1fps

・最大画像枚数

送信する画像の枚数を以下から選択します。

0枚 / 1枚 / 2枚 / 3枚 / 4枚 / 5枚 / 6枚* / 7枚* / 8枚* / 9枚* / 10枚* / 20枚* / 30枚* / 40枚* / 50枚*

初期設定：0枚

・録画時間

設定した「画像更新速度」、「最大画像枚数」より、アラーム発生前の画像の録画時間が表示されます。

[ポストアラーム]

・画像枚数

送信する画像の枚数を以下から選択します。

1枚 / 2枚 / 3枚 / 4枚 / 5枚 / 6枚 / 7枚 / 8枚 / 9枚 / 10枚 / 20枚 / 30枚 / 50枚 / 100枚 / 200枚 / 300枚 / 500枚 / 1000枚 / 1500枚 / 2000枚 / 3000枚

初期設定：100枚

※選択肢に1500枚を追加しました。

お知らせ

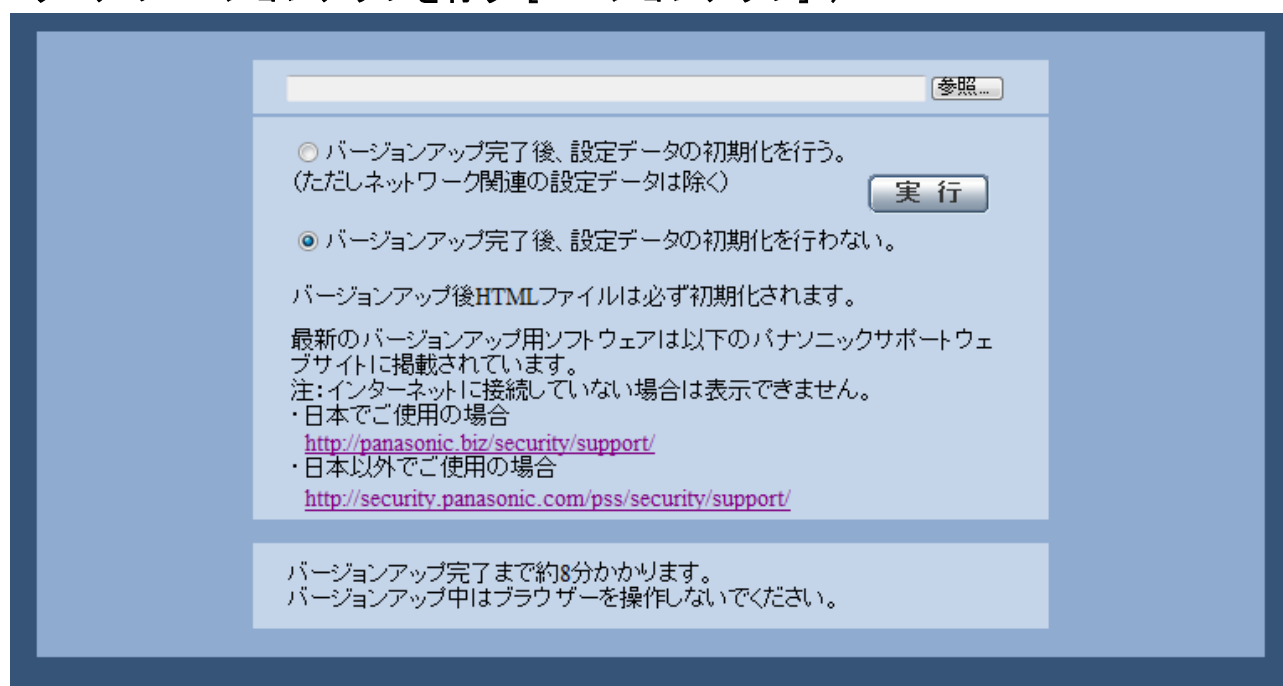
- ・ アラーム時の画質制御を「On」に設定したときは、ポストアラームの録画のみ、アラーム時の画質になります。プレアラームの録画には適用されません。
- ・ [プレアラーム] の [最大画像枚数] で、「*」付きの枚数を設定すると、解像度や画質により指定した枚数を送信できないことがあります。下記の表は、プレアラームで送信可能な最大画像枚数です。

単位：枚

		画質									
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
解像度	1280x960	5	6	7	8	10	10	10	20	30	40
	1280x720	7	8	10	10	10	20	20	30	40	50
	800x600	9	10	10	20	20	30	30	50	50	50
	VGA	10	20	20	30	30	40	50	50	50	50
	640x360	20	30	40	50	50	50	50	50	50	50
	QVGA	40	50	50	50	50	50	50	50	50	50
	320x180	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

※機種により選択できる解像度が異なります。詳しくは取扱説明書の操作・設定編(アラーム設定を行う [アラーム]ーアラーム画像に関する設定を行う[アラーム])を参照ください。

33. バージョンアップ画面にサポートウェブサイトへのリンクを追加 (取扱説明書 操作・設定編 本機のメンテナンスを行う [メンテナンス]ーソフトウェアのバージョンアップを行う [バージョンアップ])



ネットワークカメラのサポート情報へのリンクを表示しています。

- ・ 日本でご使用の場合
DG/WV/WJシリーズ
<http://panasonic.biz/security/support/>
BBシリーズ
<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>

- ・日本以外でご使用の場合

<http://security.panasonic.com/pss/security/support/>

リンクをクリックするとサポート情報が表示されます。

お知らせ

- ・サポート情報の表示には、インターネットへの接続が必要です。

34. メール通知の画像添付における変更

（取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム] –メール通知に関する設定を行う [通知] ）

SW396 SC384 SW355 SW316 SW316L SP305 SW175 SW172 SW155 NP502

〔録画圧縮方式〕（基本ページ [SDメモリーカード] タブ）を「H.264(1)」または「H.264(2)」に設定している場合でも、〔画像添付〕を「On」に設定できるようになりました。

お知らせ

- ・アラームページ [アラーム] タブの「解像度」で設定した解像度の画像を添付します。ただし、解像度に「1280×960」または「1280×720」が選択されているときは、画像を添付することはできません。

35. タイムゾーン設定に関する変更

（取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] –基本設定を行う [基本]、サーバーの設定をする [サーバー] –NTPサーバーを設定する [NTP] ）

SC384 SW175 SW174W SW172 を除く

タイムゾーンの設定値を見直し、2014年10月時点の情報に更新しました。

都市	変更前	変更後
カラカス	GMT-04:00	GMT-04:30
ジョージタウン	GMT-03:00	GMT-04:00
ミンスク	GMT+02:00	GMT+03:00
スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテ	GMT+06:00	GMT+05:30
マガダン	GMT+11:00	GMT+10:00

36. SDメモリーカードの警告出力、運用情報/エラー情報表示に関する追加 (取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム] -アラーム出力端子に関する設定を行う [アラーム]、本機のメンテナンスを行う [メンテナンス] -ステータスを確認する [ステータス])

SW396 SW355 SW316 SW316L SP305 SW155 NP502

※SDメモリーカード対応機種のみ

■SDメモリーカードの警告出力に関する追加

SDメモリーカードにエラーが発生した場合、または稼働が一定の状態に到達した場合に、アラーム端子から警告出力を出力することができます。

アラーム出力端子	
アラーム連動出力	☐ On ☒ Off
SDメモリーカード警告	☐ On ☒ Off
アラーム出力形式	☒ ラッチ ☐ パルス
アラーム時の出力	☐ Open ☒ Close
アラーム出力時間	1 s (1-120s)

設定

アラーム出力端子

[SDメモリーカード警告]

※アラーム出力端子対応機種のみ

SDメモリーカードの警告を検出したときに、アラーム出力端子に信号を出力するかどうかをOn / Offで設定します。

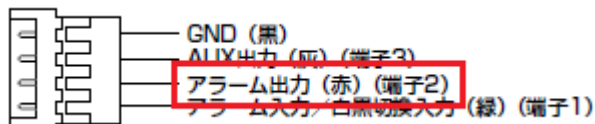
SDメモリーカード警告検出条件：SDメモリーカードエラー（ライトエラー、リードエラーなど）、稼働時間 6年経過、上書き回数 2,000回超過

On：警告状態を検知すると、アラーム出力端子に信号を出力し、ライブ画の[アラーム発生通知]ボタンが点滅します。

Off：警告状態の検知を停止します。

初期設定：Off

アラーム出力端子機能は、[アラーム] 設定の [端子2] を「アラーム出力」に設定する必要があります。



※4P アラームケーブル（付属品）の例
(機種により異なります)

重要

- ・本機能を正しく使用するためには、SDメモリーカード使用前に本機でSDメモリーカードのフォーマットを行ってください。(Ver1.66以降のソフトウェアを使用)

お知らせ

- ・稼働時間：6年は、SDカードをカメラに挿入してからの通電時間を、上書き回数：2000回は、業務用SDメモリーカード(MLCタイプ)の書換回数上限値を、それぞれ目安としており、耐久期間を保証するものではありません。

- ・ アラーム出力端子とSDメモリーカード警告は同一のアラーム出力端子を使用します。
 - ・ アラームとSDメモリーカード警告のいずれかが発生した場合に、アラーム出力端子に信号を出力します。
 - ・ SDメモリーカード警告を検出した場合、ライブ画ページの[アラーム発生通知]ボタンが点滅します。
[アラーム発生通知]ボタンをクリックすると、[アラーム発生通知]ボタンは表示されなくなります。
 - ・ SDメモリーカード警告によるアラーム出力端子の信号出力は、アラーム出力形式の設定により異なります。
- ーラッチの場合：[アラーム発生通知]ボタンを消した後も、SDメモリーカード警告の要因が継続する間、アラーム出力端子の信号出力は継続します。
- ーパルスの場合：[アラーム発生通知]ボタンを消した後も、SDメモリーカード警告の要因が継続する間、アラーム出力端子の信号出力は継続しますが、「アラーム出力時間」で設定した時間を経過した場合、アラーム出力端子の信号出力は止まります。

■SDメモリーカードの運用情報/エラー情報表示を追加

メンテナンスページの[ステータス]タブのステータス画面にSDメモリーカードの情報、使用状況、エラー情報を表示します。

SDメモリーカード		
品番	SU08G	
シリアル番号	C07A787C	
容量表示	7737322KB/7741440KB(残容量/総容量)	
稼働時間	384 min (0days)	
上書き回数	0	

No	発生日時	内容
1	Oct/20/2014 19:07:02	<SD> ライトプロテクト

【品番】

SDメモリーカードの品番を表示します。

品番情報の取得に失敗した場合は、「リードエラー」と表示します。SDメモリーカードを使用していない場合は、「未使用」と表示します。それ以外の場合は、「不明」と表示します。

【シリアル番号】

SDメモリーカードのシリアル番号を表示します。

シリアル番号の取得に失敗した場合は、「不明」と表示します。

【容量表示】

SDメモリーカードの残容量と総容量を表示します。

基本ページの[SDメモリーカード]タブ→SDメモリーカード情報[容量表示]と表示内容は同じです。

【稼働時間】

SDメモリーカードが挿入された状態での本機の通電時間を表示します。

稼働時間の取得に失敗した場合は、「不明」と表示します。

なお、稼働時間は1時間に1回更新されます。

[上書き回数]

SDメモリーカードの総容量、カメラがSDメモリーカードに書き込んだファイル数、ファイルサイズから計算した、上書き回数を表示します。

上書き回数の計算に失敗した場合は、「不明」と表示します。

お知らせ

上書き回数は本機内で計算した推測値であり、実際の上書き回数と異なる場合があります。

ログの [No] [発生日時] [内容]

SDメモリーカードに関するログを表示します。

分類	表示内容	内容詳細
SDメモリーカード	<SD> フォーマット	SDメモリーカードのフォーマットに成功しました。
	<SD> フォーマットエラー	SDメモリーカードのフォーマットでエラーが発生しました。
	<SD> ライトプロテクト	ライトプロテクトされたSDメモリーカードが挿入されました。
	<SD> 認識エラー	SDメモリーカードを正しく認識できません。
	<SD> ライトエラー	SDメモリーカードのライト処理でエラーが発生しました。
	<SD> リードエラー	SDメモリーカードのリード処理でエラーが発生しました。
	<SD> 削除エラー	SDメモリーカードの削除処理でエラーが発生しました。
	<SD> ファイルシステムエラー	SDメモリーカードのファイルシステムでエラーが発生しました。
	<SD> その他エラー	SDメモリーカードで上記以外のエラーが発生しています。

重要

- ・本機能を正しく使用するためには、SDメモリーカード使用前に本機でSDメモリーカードのフォーマットを行ってください。(Ver1.66以降のソフトウェアを使用)
- ・PCなど本機以外で使用したSDメモリーカードでは、正しい情報を表示することができない場合があります。
- ・SDメモリーカードログは、本機の内部メモリーに最大30件まで保存できます。保存できるシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。
- ・SDメモリーカードログは、本機の電源を切ると消去されます。

37. 電源装置の接続情報／警告表示に関する変更

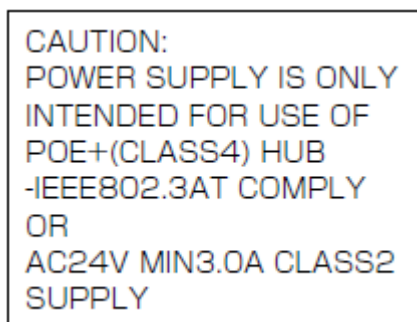
(取扱説明書 基本編 使用上のお願い)

(取扱説明書 操作・設定編 本機のメンテナンスを行う [メンテナンス] - システムログを確認する [システムログ]、システムログ表示について)

※SW396、SW396A、SW395、SW395A

正しい電源装置が接続されていないことを警告する表示を画面内文字表示からメンテナンスページの [システムログ] タブに変更します。警告が表示された場合は、使用している電源がPoE+ (IEEE802.3at 準拠) 対応であるか確認ください。または、AC24V電源をご使用ください。

○変更前



画面内文字に警告表示

○変更後

システムログ	バージョンアップ	ステータス	初期化
<< 前の100件		次の100件 >>	
No	発生日時	内容	
1	Oct/20/2014 20:17:25	<PoE+/AC24V> 検出失敗しました。PoE Class 0電源で動作します。	

メンテナンスページ - [システムログ] タブ

システムログの電源装置の接続情報／警告表示に関するログ

分類	表示内容	内容詳細
電源供給	<PoE+/AC24V> ハードウェア検出されました。PoE+/AC24V電源で動作します。	AC24V電源、またはハードウェア検出方式のPoE+電源に接続されたことを検出しました。
	<PoE+> ソフトウェア検出されました。PoE+電源で動作します。	ソフトウェア検出方式のPoE+電源に接続されたことを検出しました。
	<PoE+/AC24V> 検出失敗しました。PoE Class 0電源で動作します。	AC24V電源、PoE+電源に接続されたことを検出できません。使用している電源がPoE+(IEEE802.3at準拠) 対応であるか確認ください。または、AC24V電源をご使用ください。

38. 「可変ビットレート」をH.264の配信モードに追加

（取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う［カメラ］－H.264画像に関する設定を行う［JPEG / H.264］） **SW155**

H264(1)	
H264配信	☒ On ☐ Off
インターネットモード(over HTTP)	☐ On ☒ Off
解像度	1280x960 ▼
配信モード	可変ビットレート ▼
フレームレート *	30fps * ▼
最大ビットレート (アドバンスド可変ビットレート時)	低 ▼
制御期間 (アドバンスド可変ビットレート時)	24h ▼
1クライアントあたりのビットレート *	最大 4096kbps * ▼ ~ 最小 512kbps * ▼
画質	5 標準 ▼
リフレッシュ間隔	1s ▼
配信方式	ユニキャスト(ポート番号設定:オート) ▼
ユニキャストポート番号1(画像)	32004 (1024-50000)
ユニキャストポート番号2(音声)	33004 (1024-50000)
マルチキャストアドレス	239.192.0.20
マルチキャストポート番号	37004 (1024-50000)
マルチキャストTTL/HOPLimit	16 (1-254)
設定	

【配信モード】

H.264画像の配信モードを以下から設定します。

- ・固定ビットレート：H.264画像を「1クライアントあたりのビットレート*」で設定したビットレートで配信します。
- ・可変ビットレート：H.264画像を「画質」で設定した画質レベルを維持しながら、「フレームレート*」で設定したフレームレートで配信します。このとき、「1クライアントあたりのビットレート*」で設定した最大ビットレート以内でビットレートを可変して配信します。画質は固定となり、記録容量は「画質」設定や被写体の状況に応じて変化します。あらかじめ記録容量を算出したい場合は、「アドバンスド可変ビットレート」を設定してください。
- ・フレームレート指定：H.264画像を「フレームレート*」で設定したフレームレートで配信します。
- ・ベストエフォート配信：ネットワークの帯域に応じて、H.264画像を「1クライアントあたりのビットレート*」で設定した最大、最小ビットレートの間でビットレートを可変して配信します。
- ・アドバンスド可変ビットレート：H.264画像を「フレームレート*」で設定したフレームレートで配信します。このとき、「制御期間（アドバンスド可変ビットレート時）」で設定した期間での配信量の平均が、「1クライアントあたりのビットレート*」で設定したビットレートになるように配信します。

初期設定：フレームレート指定

お知らせ

- ・「配信モード」を「フレームレート指定」または「アドバンスド可変ビットレート」に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。

[フレームレート *]

H.264画像のフレームレートを以下から設定します。

1fps／3fps／5fps *／7.5fps *／10fps *／12fps *／15fps *／20fps *／30fps *

初期設定：30fps *

お知らせ

- ・「配信モード」で「フレームレート指定」、「アドバンスド可変ビットレート」、「可変ビットレート」を選択したときのみ設定できます。
- ・「フレームレート *」は、「1クライアントあたりのビットレート *」に制限されます。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。「配信モード」を「可変ビットレート」に設定した場合には、「1クライアントあたりのビットレート *」と「画質」の設定によっては、映像が定期的な一時停止することがあります。設定後に、配信映像をご確認ください。

[1クライアントあたりのビットレート *]

1クライアントに対するH.264ビットレートを以下から選択します。

「配信モード」で「ベストエフォート配信」を選択している場合は、最大、最小を設定します。

64kbps／128kbps *／256kbps *／384kbps *／512kbps *／768kbps *／1024kbps *／1536kbps *／2048kbps *／3072kbps *／4096kbps *／8192kbps *／制限なし *

初期設定：

- H.264(1)：4096kbps*
- H.264(2)：1536kbps *

※H.264ビットレートは、「配信モード」と「解像度」によって設定可能な範囲が異なります。

「配信モード」が「固定ビットレート」、「フレームレート指定」、「アドバンスド可変ビットレート」、「ベストエフォート配信」の場合

- ・ QVGA、VGA、320×180、640×360 の場合：64kbps～4096kbps *
- ・ 1280×960、1280×720 の場合：256kbps *～8192kbps *

「配信モード」が「可変ビットレート」の場合

- ・ QVGA、VGA、320×180、640×360 の場合：64kbps～8192kbps *
- ・ 1280×960、1280×720の場合：256kbps *～8192kbps *

[画質]

H.264画像の画質を以下から選択します。

- ・ 「固定ビットレート」、「ベストエフォート配信」の場合：動き優先／標準／画質優先
- ・ 「可変ビットレート」の場合：0 最高画質／1 高画質／2／3／4／5 標準／6／7／8／9 低画質

初期設定：標準

お知らせ

- ・ 「配信モード」で「固定ビットレート」、「ベストエフォート配信」、「可変ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。